

日本の海岸線を歩く会 歩行報告書

報告者 森正昭、友野晴夫

1. 概要

歩行名称	九州 8
歩行区間詳細	スタート地点:岸良海岸公園(鹿児島県肝属郡肝付町) ゴール地点:桜島黒神埋没鳥居(鹿児島県鹿児島市黒神町)
実施期間	2026年3月17日(月)~24日(月) 7泊8日、歩行6泊7日
全歩行距離	169.8 Km

2. メンバー表

No.	役割・分担	氏名	年齢	歩行日数	備考
1	リーダー	20期、友野晴夫	72	7	
2	記録・車両関係	9期、森正昭	84	7	
3		飛永かの子	60	2	森さん友人

3. 歩行の概要

	月日	出発地 ~ 到着地	歩行距離	歩行参加者	備考
1	3/17	羽田空港=鹿児島空港=車= 岸良海岸公園 ~ 船間分岐	4.1 Km	2名	往路
2	3/18	船間分岐 ~ 大竹野橋	26.4 Km	2名	分割歩行
3	3/19	大竹野橋 ~ 佐多岬駐車場	29.3 Km	2名	分割歩行
4	3/20	佐多岬往復・大泊 ~ 立神公園	24.5 Km	2名	合同+分割
5	3/21	立神公園 ~ 古江公民館	32.4 Km	2名	分割歩行
6	3/22	古江公民館 ~ 有村溶岩展望所	23.3 Km	3名	分割歩行
7	3/23	有村溶岩展望所 ~ 黒神埋没鳥居 =車=鹿児島空港	29.8 km	3名	分割歩行
8	3/2	鹿児島空港=羽田空港			帰路



全程の地図

4. 費用

1) 交通費

航空券 羽田ー鹿児島往復 26985 円/人
レンタカー 39680 円/2 名
高速代 1380 円
ガソリン代 4476 円

2) 宿泊代

17 日 湯の谷温泉 6350 円
18 日 湊原旅館 8500 円
19 日 民宿なぎさ 7500 円
20 日 ビジネスホテルオルビス 7040 円
21 日 VistaMareII 6600 円
22 日 HOTEL AZ 鹿児島垂水店 7260 円
23 日 ホテル伊佐 6600 円

5. 歩行の詳細

3/17(火)、岸良海岸公園～船間分岐 4.1Km (曇り)

往路

フライト:羽田空港 840 SKY303 - 鹿児島空港 1040
鹿児島空港でレンタカーを借りる:空港～岸良海岸公園 17km
高速道路 1380 円を利用する
途中のレストランで昼食、途中のコンビニで明日の昼食を調達する

歩行 岸良海岸公園～一の谷発電所 10.9 Km

(森:岸良海岸公園～船間分岐 4.1Km 友野:船間分岐～一の谷発電所 6.8Km)

※実際の歩行は 10.9Km 海岸線の記録は 4.1Km(先が通行止めのため、友野の歩行部分は無駄となった)



●森:岸良海岸公園～船間分岐 4.1Km

14:40 岸良海岸を出発、海岸沿いの県道 448 を登り、岸良展望所を通過
15:30 50 分歩いたところで休憩、歩行距離/3.2 km
16:00 船間分岐付近で、車/トヨタ・白色 をゲット。高齢者マークを付けている
車で友野さんの歩行ルートを追跡、ゴール/一の谷発電所で友野さんと合流。

●友野:船間分岐～一の谷発電所 6.8Km

森さんをスタート地点の岸良海岸公園に降ろす

1450 船間分岐に車をデポする、友野歩行開始



国道から外れて船間漁港、辺塚海岸方面へ下る、静かな道を歩く

1600 辺塚海岸



人知れずの砂浜がきれいな海岸は穴場です
海岸から山の中の舗装林道を登る

1630 一の谷発電所、歩行終了



※この先の海岸線に沿った道路は、途中ががけ崩れで通行止めであることが判明し、明日は船間分岐から内陸の道路を歩くことにする

(友野の歩いた船間分岐～発電所間の 6.8Km は取り越し苦労であった、残念！)

1700 湯の谷温泉着

湯量が豊富な良い温泉、2食付き 6350円が魅力。
ただしハイシーズンになると、1000円アップ
鹿児島の芋焼酎とカンパチの刺身が美味しかった



3/18(水)、船間分岐～大竹野橋 26.4Km(曇り)

(友野:船間分岐～でんしろの森 10.6Km、森:でんしろの森～早馬元氣市 10.9Km、友野:早馬元氣市～大竹野橋 4.9Km)



840 湯の谷温泉発



宿の女将さんと写真を撮る

●友野(前半):船間分岐～でんしろの森 10.6Km
900 船間分岐で降りてもらおう、友野 歩行開始



昨日、友野が歩行を開始した起点に戻り、今日は国道ルート歩き始める
海岸ルートは崖崩れで通行止めのため、今日は国道に迂回するルート歩く



海岸から離れて、かなり高い所を歩く、景色は良い
広い国道を1時間15分ひたすら登る、最高地点は標高450mだった

1140-1150 てんしろの森



車に着く、前半の歩行終了

●森: てんしろの森～早馬元気市 10.9Km

9:25 てんしろの森に車デポ、県道448から離れ錦江町に向かう。実はこのルートはあとで間違えと分かった。

10:20 地元の人と話し込む

11:30 花瀬自然公園



花瀬自然公園 溶結凝灰岩が敷き詰められている

12:10 ルートの間違いに気づき、電話連絡して後に、友野さんと合流。次の修正ルートを設定。

14:30 友野さんデポの車をゲットし、大竹野橋へ向かう。

ゴール付近は人家の全くない、山の中。

15:30 友野さんと合流

●友野(後半):早馬元気市～大竹野橋 4.9Km

1210-1300 森さんと合流、打ち合わせ、明日の食料を田代のスーパーで買い出しする

1320 早馬元気市、店の前に車を止める、友野 後半の歩行開始



ここからも登り坂が続く、途中で雨、雨具を着ける



佐多岬への道路標識を見て元気になる

1440 大竹野橋、歩行終了



森さんと合流して今日の宿に車で向かう

1515 湊原旅館、ワラジエビ(沖縄の高価な食材)を食べさせて頂きました



女将さん 81 才と、その友人の女性(明日も会った)と仲良く話す

3/19(木)、大竹野橋～佐多岬駐車場 29.3Km(曇りのち晴れ)

(友野:大竹野橋～竹之浦郵便局 18.0Km、 森:竹之浦郵便局～佐多岬駐車場 11.3km)



830 湊原旅館を車で出発する y



玄関前で女将さんと写真を撮る、お世話になりました

●友野:大竹野橋～竹之浦郵便局 18.0Km

855 大竹野橋、歩行開始



歩き出しは雨が降っていたが、すぐに止んだ
まだまだ登りが続き、最高地点の標高 600mの峠を越える

955 辺塚分岐

峠を下る、曇りから晴れてくる、下り道が長い

1115 折山分岐、花をきれいに育てているおばあちゃんと話しをする
さらに長い下り坂を歩く



途中で道路工事の人たちと話を

する
女性は昨日に泊まった湊原旅館で出会った方、女将の友人でした、奇遇でした

1220 郡小学校、山間部から降りて平地に着く



しかしまた山道を登る(写真にある山を越える)

道は九州自然歩道に指定されていて、標識が完備されている

1340-1400 竹之崎郵便局、友野 歩行終了



山間部の迂回道から、やっと海岸線に戻る、海がきれいです

大隅半島の太平洋岸の海は荒々しい感じである

●森: 竹之浦郵便局～佐多岬駐車場 11.3km

9:40 竹之浦郵便局前に車デポ

10:40 外の浦、佐田岬まで 10 kmがんばれの看板



12:05 南大隅町峠

13:30 観光船船着き場、大泊から佐田岬への道が
行き止まりで引き返す。あと 2 km。

疲れてきたので、友野さんへ応援を依頼。

14:30 佐多岬駐車場

森さんと連絡とる、森さんはまだ歩行中だったので、
駐車場から少し戻る

1440 森さんと合流、バトンタッチして最後の 1.2km を友野が歩く



1455-1530 佐多岬駐車場で合流する





佐多岬灯台を眺めながら、今日のご褒美のソフトクリームを食べる

1600 民宿なぎさ、海が目の前の宿



取れたての魚、カンパチの刺身、アラ煮などを食する
フィリピン人の女将と、いろいろと話す

3/20(金)、佐多岬往復 ・ 大泊～立神公園 24.5Km(晴れ)

(森+友野:佐多岬往復 3Km、 森:大泊～西方 7.8Km、 友野:西方～立神公園 13.7Km)



820 民宿なぎさ、おにぎり弁当を作ってもら



●森+友野:佐多岬往復 3Km

830 佐多岬駐車場

今日は天気が良くてラッキー、遊歩道を展望台まで歩く

850-905 佐多岬展望台



佐多岬灯台が近くに見える、灯台は小島に立っていて、そこまでは歩けない



開聞岳が近くに見える

920 佐多岬駐車場に戻る

●森:大泊～西方 7.8Km

9:35 大泊公園野営場出発



10:25 ふれあいパーク 天気良好、開聞岳が美しい



ふれあいパーク佐多のデッキからの、開聞岳が見事

11:30 フラン人ブラジャーノと出会う。自転車で3か月かけて日本を回るとのこと。



フランス人/ブラジーンさん

峠のトンネル手前で昼食

13:00 峠を下った西方で車をゲット

●友野:西方～立神公園 13.7Km

1000 西方、歩行開始



国道な脇に車をデポする

国道を下って、初めて錦江湾側の海に出る

1040 伊座敷、スーパーでパンを買う



海がきれい、山が迫っている



さすが南国、パパイヤの栽培が行われている
鹿児島では、早々とジャガイモの収穫、ジャガイモ畑が多い

1115 大川村落



天気が良く開聞岳がずうっと見える
さすが南国、バナナも豊作です

1335 立神公園、歩行終了



森さんと合流する

宿に行く途中で、道の駅ねじめに寄る

甘い夏みかんを食べる



道の駅の前でスペイン人の歩行旅行者と出会う

彼はスペインのジブラルタルから来た、日本縦断徒歩 200 日を南端から開始した、とのこと
お互いに健闘を称え合いました！

1440 ビジネスホテルオルビス



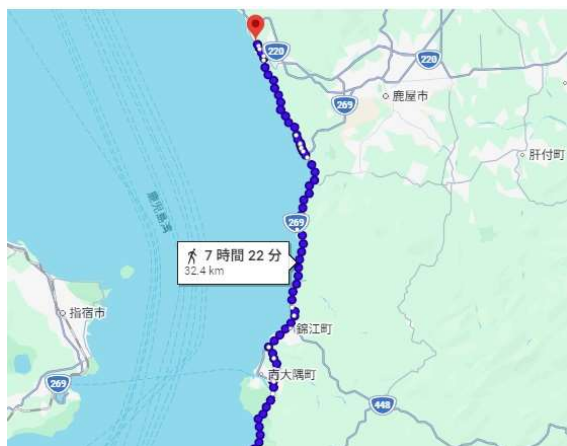
レトロな宿、ここでも女将さんと長々と話をする、缶ビールで乾杯する。



立神公園からの開間岳日没

3/21(土)、立神公園～古江公民館 32.4 Km(曇り)

(友野:立神公園～竹之崎 21.3km、 森:竹之崎～古江公民館 11.1Km)



830 ホテルを車で出て、立神公園に行く

●友野:立神公園～竹之崎 21.3km

850 立神公園、歩行開始



今日は曇っていて、少し涼しい
途中で1863年の薩英戦争の大砲跡の見学する



道の駅ねじめ前の海岸は、砂浜がきれいである

1030 根占の町中

川沿いの堰堤で休憩する、近道で峠越えをする

1140 大根占漁港、ここも砂浜がきれい



漁港は水もきれいでした

車で走っている地元のおばちゃんに「車に乗りませんか？」と誘われる

地元の方の親切な心に触れました

1300 道の駅にしきの里



道の駅で名物のさつま揚げを買って食べる

8個、163円！ 安くて美味しかった

佐多岬から宗谷岬まで歩いている韓国人の若者と出会う



彼は 90 日で日本を縦断する、YouTube 動画を配信する会社で働いている、とのこと
しばらく一緒に歩く、彼の方が歩行が早いので、10 分ぐらい歩いて、先に行ってもらう

1450-1510 竹が崎、歩行終了



●森: 竹之崎～古江公民館 11.1Km

- 9:20 竹之崎に車をデポ、国道 269 を海沿いに歩く
- 11:00 側道に入ると、同年代の人たちが、ゲートボールを楽しんでいた
- 12:00 バス停の小屋で昼食
散歩中の「ちかさんとすみこさん」からみかんを貰う
- 13:30 大隅線の廃線跡の歩道が歩きやすい
- 14:05 古江公民館着



1530 古江公民館、森さん合流

1600 ビスタマーレホテル

新しくきれいなホテル、部屋は広い、洗濯機が部屋にあり、上着とズボンを洗濯する

肉を主体のボリュームある夕食

部屋から錦江湾の夜景が見える



裏の建物は、柔道着などの衣類が干されているが
空き家状態で不気味だった

3/22(日)、古江公民館～有村溶岩展望所 23.3 Km(曇り)

(森:古江公民館～垂水南港 8.8Km、 飛永+友野:垂水南港～有村溶岩展望所 14.5Km)



●森:古江公民館～垂水南港 8.8Km

8:20 古江公民館からスタート、小雨模様だが温か。桜島の上部は雲の中

10:10 堤防の道で散歩中の男性と話し込む。元鹿児島交通バスの運転手。

妻が障害者となり遠出ができないとのこと

11:00 「アコウ」林の中のトレーラーハウスで休憩、1泊、2万円/人とのこと、しかも自炊だ。

2人の女性、若い娘は地元で大学生で教員を目指している。今日はアルバイトとのこと。



「あこう」は、その巨大さにびっくりする、桑の一種で海岸沿いに生育し、桜島あたりまで良く見られた。

11:55 垂水港駐車場着。その後、車で有村溶岩展望所に向かう。

●飛永+友野:垂水南港～有村溶岩展望所 14.5Km

840-915 垂水フェリー乗り場



フェリー乗り場から、今回、初めて桜島を眺める

フェリーから降りてくる飛永さん(熊本に住んでいる)と合流し、初対面の挨拶を交わす

925 垂水南港 二人で歩行開始



港に車をデポする

国道を自己紹介などしながら、話しながら歩く、コンビニでトイレ休憩する



広い国道は花壇が多く設置されている、南国の花々がきれいに咲いている

1100 垂水市内



温泉があり、数件の宿も見かけた
途中、海辺の展望所で2回目の休憩をする、桜島が見える
国道のトンネルは避け、海岸ベリ旧道を歩く



1230 桜島入口、3回目の休憩、パンやおにぎりなどを食べる



いよいよ、ここから桜島一周コースに入る

高台の眺めの良い道を歩く、海は穏やかでカンパチの養殖が盛んな風景を見る
少し雨が降り、雨具を付けて歩くが、すぐに止んだ

1315-1400 溶岩展望所 歩行終了



ここで3人が合流する、
時間があるので展望所を散策する、桜島の斜面の風景や、溶岩の見学をする
高台なので海の展望がよい

1420-1500 道の駅

時間があるので、海を見ながらコーヒー専門店でコーヒータイム
雨が激しく降ってくる、しばらくして止んだ

1500 ホテルAZ、ビールと焼酎で乾杯、話しをして盛り上がる



夕方は晴れて、ホテルの部屋の窓から桜島の堂々たる雄姿を見る

3/23(月)、有村溶岩展望所～黒神埋没神社 29.8 Km(晴れ)

(森+飛永:有村溶岩展望所～鳥島展望所 10.0Km、友野:鳥島展望所～黒神埋没鳥居 19.8)



830 ホテル発



最終日もラッキーで、今日は朝から晴れている
 出発地点に向かう途中の、海岸公園で桜島の写真を撮る

●森+飛永:有村溶岩展望所～鳥島展望所 10.0Km

9:05 有村溶岩展望所を、森と飛永かの子さんスタート、
 鶯がなき南国の春を感じる、桜島山頂は、まだ雲に隠れている。

9:50 No?避難郷前 暑いくらいの日差し



噴火の落石に備え、退避壕は道路沿いに 30 数か所、
 また船で避難できるよう避難港も作られている。

降雨の際の泥流排水路(左側)は、こんな好天では無
 用の長物のようだが……

11:00 集落内の神社の縁側を借りて休憩集落の上り下りの多い道に行く。

「東桜島保育園」の看板に、ほっとしたのもつかの間。



絵本などを縛って外に出しているの、声をかけると現在の園児は3名、保育さんも3名。
今週末に桜島全体で、保育園は1カ所に統合されること。小・中学校は7カ所にあったが、それも1カ所に統合されるようだ。
集落も、空き家や今にも崩れそうな廃屋が目立つ。人口減と少子化の波が、地方のコミュニティを侵食している。

12:15 桜島物産館で昼食、豚汁を注文し、持参のおにぎりを食べる。

広い食堂は我々だけだったが、外国の年配女性たちが入ってきた。

展望所に向かう途中、2人のフランス人に会った。一人は薬剤師、もう一人はマッサージ師とのこと。



坐骨神経痛が痛むと言ったら「ここに寝たら治療してやるよ」の冗談が出てきた。

13:30 鳥島展望所に到着、車をゲット

湯の平展望所を回って、黒神埋没神社に行くこととする。

14:40 黒神埋没神社に到着、友野さんと合流。

●友野:鳥島展望所～黒神埋没鳥居 19.8

925 鳥島展望所、歩行開始



車をデポしたところで、野良猫に出会う、地元の人が猫に餌をやって育てている様子である



桜島フェリー乗り場を通過する

ここ付近が桜島の観光地らしく、いろいろな施設がある



フェリー乗り場前のバス停で、ニュージーランド女性と話しをする

このあと彼女は、バスで桜島口まで行き、私とは反対方向に桜島を半周する

14時頃に、桜島の北側の道路でまた出会う

お互いに感激の再会をする、彼女は5週間、日本旅行を楽しんでいる、とのこと

1005 小池展望公園



桜島へ雲に隠れている、穏やかな錦江湾を眺めながら休憩する



1140 桜島西道港、海がきれい
対岸の鹿児島市街のビル群が良く見える



天気が良くなり、桜島の頂上付近が見えてくる
途中、小学校、中学校の廃校が多く見受けられる

1240 古河良港
暑いので、Tシャツになって歩く

1340 園山漁港



交通量の多い車道から離れて、海岸線を忠実になぞる静かな道歩く
暑い、海はコバルトブルー、海岸線歩きの醍醐味を堪能する

1450 黒神埋没鳥居、歩行終了



森さん、飛永さんと合流する



皆で溶岩に埋没した鳥居を見学する、大正大噴火の降灰によって埋まってしまった鳥居がそのものすごさをリアルに伝えている。

その後、レンタカーで鹿児島空港に向かう

1530-1600 途中、黒酢の里を見学する



美味しい黒酢をお土産に買う

1700-1830 鹿児島空港、レンタカー返却する



鹿児島空港で夕食、ビールで乾杯
地元の名物である焼きそばを食べる

1900 ホテル伊佐、設備が整っていて良いホテル
夜も飛永さんの差し入れワインを飲みながら、森さんの部屋で楽しく歓談する

3/24(火)、帰路

615 ホテル発、送迎してもらう
熊本に帰る飛永さんと別れる

715 鹿児島空港

900 羽田空港、無事に帰宅する

6、動画集

九州8 2-3 日目 <https://youtu.be/Zw2X9GYwr0c>

九州8 4 日目 <https://youtu.be/idQfkEfwvxw>

九州8 5 日目 <https://youtu.be/2gdyhk7mMhA>

九州8 6 日目 <https://youtu.be/yT3sxunc-uU>

九州8 7 日目 <https://youtu.be/ufJSU2SEa0c>

7、感想

<大隅に住んでいる人たちとの出会い> 森 正昭

大隅半島は深い山と美しい海が、海沿いの人の交流を阻んでいる。林業が多くの人の生業だったようだが、過疎化が進んでいる。

杉の植林された峠の道を上り詰めた肝付町船木集落でこんな記念碑に出会った。この地に住んでいた証を残したいという思いが、歩く旅をしている者にも伝わってきた。



2日目、友野さんとの打合せミスで、里山の歩行ルートに入り込んだ。杉の樹林帯の中で、一面に咲く白い花の群落を見つけた。ネットで調べると「サツマイナモリ」と出てきた。薄日の差す木立に咲く花との出会いになんか儲かったような気がした。



京セラの創始者/稲森和夫さんは鹿児島島の生まれで関係があるのではと思います、後日調べたが特につながりはなかった。

集落に出たところで、杉の搬出をしている人らから話を聞いた。大隅半島は杉を中心とした林業が盛んで、製材所で2mと3mの長さで切って、中国に輸出しているそうだ。中国で何に使っているかは分からないとのこと。前の田んぼでは水が張られていて、早くも田植えの準備が進んでいた中郷の湊原集落で、湊原旅館に泊まった。宿のおかみ、えつ子さん(81)は一人で切り盛りしており、商店のある町まで行くには急な峠を越えて約10km、車が運転できなくなったら廃業だそうだ。

周りは空き家だらけで住人は90人、しかし大隅の太平洋側にはこの旅館しかなく、旅行者にはオアシスのような存在らしい。

かつて、僻地という言葉があったが、時の流れがここを僻地としてしまった。

夕方になると野菜を持った元気あふれる女性が立ち寄っておしゃべりしていった。その入れ替わりに男性が夕食を食べに来た。リタイアして冬場は山で「クズの根」掘り、夏は釣り三昧、車に寝泊まりしていると、えつさんから聞いた。

場が和むにつれ話し始めた。山を歩き回り、葛の根を探すと営林署の許可を貰いブルドーザーを使って掘るのだという。大物は直径30cm、長さ10mにもなるそうだ。そこまでやって本物のくず粉作りとなると商売になるらしい。

夜中に、「どど…」という音で家が揺れた。そして瓦が落ちるような音。朝になって友野さんにいうと、「そんな音はしなかったですよ」の答え。座敷わらしにでもからかわれたのだろうか？



<出会った旅人たち>

佐多岬にあと少しの下りで、小さなリックを背負った若い韓国の男性と出会った。今日の宿まで歩いて行くという。午後1時過ぎというのに、まだ30kmも先だ。「No problem」と行ってしまった。(彼は翌日友野さんと出会うことになった)

我々が道の駅で休んでいるところに、大きなバックパックを背負った若いスペイン人が歩いてきた。

200日かけて日本縦断に挑戦しているという。すべての荷物を背負っての旅、その覚悟は半端ではない。(記録参照)

自転車で2か月かけて、九州を回っているというフランス人の男性にも出会った。鹿児島湾の美しさが気に入ったと話していた。

桜島ではフランスから来た2人つれに出会った。これから歩いて、鳥島展望所まで行くのだという。

(飛永かの子さんと一緒に歩いていた時の記録参照)

私たちが歩いて旅していることもあろうが、「歩いて旅する」外国人が多いことにびっくりした。彼らは、日本の人々や風物に魅せられての来日、私たちが海岸線を歩く旅をしているのと通じるものがあるのだろう。

東京都立大学ワンダーフォーゲル部08会

日本の海岸線を歩く会

森 正昭

自宅 〒215-0003
川崎市麻生区高石4-9-25
Tel/Fax 044-951-1089 080-3455-5149
Mail masa4925@jcom.home.ne.jp
<https://www.tmuwvob.com/>

日本の海岸線を歩く旅とは 人と人との出会いの旅、日本発見の旅

かつて、08会の仲間やその関係者たちとロンドンから東京まで歩き、その足跡をつないできました。1996年にロンドンスタート、2011年に東京日本橋到着しました。
その後、2013年に東京日本橋をスタートし、日本の海岸線に沿って歩く旅を続けています。

人と出会った時の自己紹介として、10枚ほど名刺を印刷し持参した。これからは英語も入れた改訂版を作ることしよう。

<大隅半島ならではの自然>

今回の旅の楽しみは、開聞岳と桜島を間近に眺めることだった。多少の雨模様はあったが、しっかり見ることもできたし、佐田岬から桜島一周で我々の歩きを励ましてくれた。

開聞岳の海から立ち上がっている秀麗な姿はどこからでも一幅の絵になった。佐多岬からの姿は前に遮るものがなく見事だったし、立神公園から見た山の端に沈む夕日も美しかった。

桜島は全島を一周したお陰で、鹿児島市内から良く見られる姿とは違った様々な表情を見せてくれた。火山と同居している地域の備え、河川の堅固な護岸は、目の前の噴煙や過去の大噴火の被害の様子が残っているだけに、納得できるものだった。

佐多岬の巨大なガジュマルはいかにも南国らしく存在感があった。またキイロノウゼンも花の少ない時期に目を引いた。



桜島・樹齢 1000 年のアコウ



佐多岬からの開聞岳



佐多岬公園の巨大なガジュマル



裏から眺めた桜島



キイロノウゼン/佐多岬



花瀬公園・溶結凝灰岩の石畳

最後に、友松知宏さんの家族がここまで足跡をつないできてくれたことに敬意を表するとともに、この素晴らしいルートを残してくれていたことに感謝したい。今年の秋に、指宿のゴールと一緒に歩くことができるなら、大変嬉しいことです。

また、同好の友人・飛永かの子さんの参加も、この旅を盛り上げてくれました。感謝です。

《桜島を歩く旅に参加した感想》 飛永 かの子

母の実家の鹿児島生まれですが、住んだ事はなく桜島も大好きな山でした。

今回、海岸線を歩く旅という話を聞いてワクワクして、2日間参加させていただきました。

遠くから見る桜島、歩きながら色々な角度から桜島を見れて、美しい姿に感動しました。

地域の住民の方とのふれあいも、素敵な体験でした。

歩くというのが、スピード感もよかったです。

また、機会があれば参加したいと思いました。



花瀬自然公園/溶結凝灰岩の石畳

《飛永 かの子さんの紹介》 森 正昭

私が住んでいる川崎市麻生区で活動している里山の会「高石みどりの森」の仲間です。

故郷の熊本に戻り、古民家を改修し友人が集える場所にしたいと意気込んでいる。

ワインコンセルジュでもあり、伴走ボランティアもやっている。旦那は麻生区に置いてきぼり。